

教育支援相談(就学相談)から就学先等決定までの流れ

＜福生市の特別支援学級＞

- ◇知的障害特別支援学級（一小・二小・一中）
- ◇自閉症・情緒障害特別支援学級（五小・六小・一中）
- ◇特別支援教室（全小・中学校）
- ◇言語障害通級指導学級（七小）
（五小は令和9年4月に学級開設予定）

＜特別支援学校＞

- ◇東京都立羽村特別支援学校（知的障害）
- ◇東京都立あきる野学園（肢体不自由） など

＜教育支援相談（就学相談）申込み＞

保護者から教育支援相談（就学相談）の申込みをいただきます。
（令和9年4月に小・中学校の入学予定のお子さまは、7月31日（金）までに申込み）

＜保護者・お子さまとの面接＞

教育相談室の相談員との面接や検査等によりお子さまの状況を把握します。

＜関係機関との連携＞

保育園や幼稚園、小・中学校を訪問し、お子さまの普段の様子を観察するなど状況を把握します。保護者の了承のもと、保育園や幼稚園、学校、病院主治医（受診歴がなければ受診していただきます）に資料作成を依頼します。

＜特別支援学級や特別支援学校等の見学・体験授業＞

保護者のご希望やお子さまの状況に応じて、見学・体験授業を実施します。

＜教育支援委員会＞

小・中学校の校長や特別支援学級担任、専門医、教育委員会職員等で構成する教育支援委員会で、お子さまの就学先について協議します。教育支援委員会の判定を保護者にお伝えし、保護者の同意をもって最終的な就学先・支援先を決定します。

＜就学先・支援先の決定＞

小・中学校へ入学・転学・支援を開始します。

※小学校・中学校に在学中の児童・生徒が「特別支援教室」の支援を利用する場合は、在籍校に相談してください。

福生市の特別支援教育について

市では、さまざまな要因によって学習面や生活面・行動面において支援を必要とする子どもたちに、きめ細やかに適切な支援を行うことができるよう、特別支援学級等を設置しています。

支援の利用にあたっては、事前に相談が必要となります。在籍されている学校、もしくは教育相談室へお早めにご相談ください。

こんな心配はありませんか？



- 勉強が身につかない。
- 発達がゆっくりで、入学後が心配
- 落ち着きがなく、集中ができない。
- 友達とうまく遊べない。
- 集団行動が苦手
- こだわりが強い。
- 新しいことが苦手
- 学校だと話せない。
- 吃音^{きつおん}が気になる。 など

小・中学校入学予定のお子さんの就学相談を行っています

令和9年4月に小・中学校へ入学予定のお子さんの相談も受け付けています。7月31日（金）までに電話で教育相談室へお申し込みください。

お子さんにとって良い学校生活がスタートできるよう、ぜひご相談ください。

お気軽に
お電話
ください

【教育相談室受付時間】

月～土曜日（祝・祭日を除く）午前8時30分～午後5時15分

問合せ 教育相談室（子ども応援館1階） ☎ 551・7700

やってみたい!が見つかる「中学生のための地域団体・サークルガイドブック」を作成!

福生市教育委員会は、中学校部活動の段階的な地域展開に向けた取組の一環として、中学生が学校の外でも多様な体験活動ができるように、市内で活動されている団体の方々にご協力をいただき、『中学生のための地域団体・サークルガイドブック』を作成しました。

本ガイドブックは、4月下旬に市立中学校全生徒の一人1台端末へ配信するとともに、市ホームページにも掲載しました。



今後、新たに掲載したい団体やサークルがありましたら、随時内容を更新していきますので、掲載を希望する地域団体等は、担当までご連絡ください。

また、本冊子の作成にあたりご協力いただきました各団体の皆さま、誠にありがとうございました。

問合せ 教育指導課指導係 ☎ 551・1538

「福生市立学校コミュニティ・スクール総会」を開催しました!

5月9日（土）、福生第一中学校体育館において「福生市立学校コミュニティ・スクール総会」を開催しました。

今年は、福生第一中学校及び福生第三中学校がそれぞれの学校における取組について事例発表を行いました。

続いて、福生第四小学校コミュニティ・スクール委員会山崎源太会長より「西多摩初のコミュニティ・スクール立ち上げから10年を振り返りながら次世代に」という演題で講話をいただきました。

グループ討議では「持続可能なコミュニティ・スクールの在り方～地域循環を生み出す仕組みについて～」をテーマ



に、116人の各校コミュニティ・スクール委員と教職員が、各学校一人ずつのグループに分かれてそれぞれの立場から意見交換を行いました。

コミュニティ・スクールとは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に位置付けられた学校運営協議会を設置している学校のことで、福生市では全ての小・中学校が指定を受けています。

問合せ 生涯学習推進課生涯学習推進係 ☎ 551・1950

田園風景の記憶

問合せ 生涯学習推進課文化財係 ☎ 530・1120

JR五日市線の
築堤にある
用水路跡



南田園地区
（現・福生三中付近
昭和30年代前半）

田んぼがなくなり、築堤の用水路はその役目を終えましたが、誕生してから100年間、田園地区の発展を見守っています。

それは、田んぼの用水路跡です。大正14年（1925）、JR五日市線の前身である五日市鉄道が開通しました。五日市鉄道が熊川村を通過する際の条件の一つとして、田園地区に築かれる五日市鉄道の築堤に、田んぼの用水路を作ることがありました。そのため築堤に数か所トンネル状の水路が作られ、今も残されています。

「多摩川河原土地区画整理事業」が完了してから50年が過ぎました。この事業により誕生したのが北田園地区と南田園地区です。地名の通り、この地区は江戸時代の後半から続く田園地帯でした。区画整理によって開発が進み、50年間で全ての田んぼは姿を消しましたが、その痕跡は、JR五日市線が田園地区を通過する築堤で確認できます。



福生市の
まめ知識
No.11

